

令和5年度 第4回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

会議の概要

| | | | |
|---------------|---|--|---|
| 開催日時 | 令和6年2月26日（月）13時30分から15時00分まで | | |
| 開催場所 | 多摩区役所 11階 1101～1103 会議室 | | |
| 出席者の氏名 | 委員 | 安陪修司（多摩区商店街連合会） 有北郁子（多摩区子ども総合支援連携会議） 内田由美子（川崎市多摩区社会福祉協議会 地域課） 大澤敏夫（川崎市多摩区社会福祉協議会 菅地区社会福祉協議会） 大津努（稲田地区社会福祉協議会） 小川町子（多摩区食生活改善推進員連絡協議会） 奥沢邦雄（中野島地区社会福祉協議会） 和秀俊（田園調布学園大学） | 木澤静雄（登戸地区社会福祉協議会） 岸忠宏（多摩区医師会） 小山富士子（多摩区子ども会連合会） 佐久間真弓（よみうりランド花ハウス 地域包括支援センター） 永仮都子（生田地区社会福祉協議会） 松澤明美（多摩区民生委員児童委員協議会） 松本英嗣（多摩区町会連合会） 山岸勝子（多摩区老人クラブ連合会） |
| | 多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・多摩区支え合いのまちづくり推進会議事務局 | 藤井智弘（多摩区長） 町田昭一（危機管理担当課長） 鈴木智晴（総務課長） 渡會勝行（企画課企画調整係長） 上野進（地域振興課長） 柏原美由紀（生涯学習支援課長） 渡辺陽一（区民課長） 石渡慎也（保険年金課長） 吉澤朋充（生田出張所長） 大田祈子（児童家庭課長） 荒木啓介（高齢・障害課長） 徳丸千大（保護2課長） 小倉充子（衛生課長） 大谷里美（保育所等・地域連携担当課長） 井野康信（道路公園センター管理担当課長） | 浅見政俊（地域みまもり支援センター副所長） 中山礼子（地域ケア推進課長） 曾我利江（地域支援課長） 清水暁（地域支援課地域サポート係長） 林史大（地域ケア推進課企画調整係長） 杉本光一郎（地域ケア推進課企画調整担当係長） 高橋公（地域ケア推進課企画調整係） |
| 欠席委員 | 岩田和可（多摩区地域自立支援協議会 北部基幹相談支援センター） | | |
| 議事 | （1）第7期川崎市・各区地域福祉計画の策定に係るパブリックコメント及び市民説明会について （2）第7期多摩区地域福祉計画（案）について （3）第7期多摩区地域福祉計画概要版（案）について （4）令和5年度地域包括ケアシステム構築に向けた主な取組結果について | | |

| | |
|--------------|--|
| 傍聴人の数 | 1名 |
| 配付資料 | <p>[配布資料]</p> <p>資料1…第7期川崎市・各区地域福祉計画の策定に係るパブリックコメント及び市民説明会について</p> <p>資料2…第7期多摩区地域福祉計画（案）</p> <p>資料3…第1回～第3回会議での御意見等を踏まえて反映させていただいた14箇所</p> <p>資料4…第7期地域福祉計画概要版（案）</p> <p>資料5…令和5年度地域包括ケアシステム構築に向けた主な取組について</p> <p>参考資料1…名簿</p> <p>参考資料2…令和5年度第3回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録</p> <p>参考資料3…第7期川崎市・各区地域福祉計画へのパブリックコメントについて</p> <p>参考資料4…第7期多摩区地域福祉計画 計画策定スケジュール</p> <p>[冊子資料]</p> <p>第6期多摩区地域福祉計画、第6期多摩区地域福祉計画概要版、地ケアTAMA vol. 6</p> |

議事要旨

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----------|---|
| 事務局（中山課長） | 次第1（開会） |
| | （会議録作成のため録音の承認） |
| 藤井区長 | 次第2（挨拶） |
| 事務局（中山課長） | ・配布資料の確認 ・座長を和委員にお願いしたい旨提案→承認 |
| 和委員 | 御承認いただきました田園調布学園大学、和と申します、よろしくお願ひいたします。 それでは次第に従い議事を進行する。 議事（1）について 事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局（高橋職員） | 次第3（議事） （1）第7期川崎市・各区地域福祉計画の策定に係るパブリックコメント及び市民説明会について |
| | 資料1の説明 |
| 事務局（杉本係長） | 次第3（議事） （2）第7期多摩区地域福祉計画（案）について |
| | 資料2、3の説明 |
| 事務局（杉本係長） | 次第3（議事） （3）第7期多摩区地域福祉計画概要版（案）について |
| | 資料4の説明 |
| 和委員 | 事務局から、議事（1）、（2）、（3）について資料1から4まで連続して報告いただいたが、このことについて御意見、御質問をいただきたい。 |
| 松本委員 | 大変網羅的によくまとまっていると思うし、概要版もページ数が増えたが、この程度でいいと思う。 私の一般的な感想だが、皆さまに福祉が理解されているかということとされていない。自分が支援を受ける段階になって初めて、多摩区にどんな福祉が、支援するシステムがあるのか考えるようになる。計画書も124ページと文章量が多く、これを周知するのは無理な話だと思う。社協も認知度が低いという話をよく聞くが、社協も支援を受ける時やボランティアセンターで名前が出て初めて内容を知られる。知らせることは大事だが、限界があるというのが意見、感想である。 |
| 有北委員 | 前回か前々回に意見を言わせていただき、かなり反映していただいた。 計画書と概要版を見比べた際に、計画書では「3年後を見据えてめざす多摩区の姿」とあり、概要版では単に「めざす姿」となっている。概要版は凝縮して載せなければならないが、省略している部分もあると思うが、出来るだけ同じ文言が使われている方が探しやすいと思った。 イラストがたくさん入っており、親しみが湧くのでいいアイデアだと思った。 |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-------|---|
| 和委員 | イラストは障がいをお持ちの方たちにお描きいただいたもので、計画書冊子を見ていただくと吹き出しのところにイラストが使われていて、本当に親しみやすくなるというか、表紙からもほっこりするような、手に取っていただけそうな感じがする。 |
| 安陪委員 | 先程、松本委員がおっしゃったように、一般社会から見ると認知度が非常に低い。いざ自分が駆け込まなければならぬ時に初めて役に立つというのが現状だと思う。十分痒いところに手が届く内容になっているので、広く一般市民の皆さまの目に止まるような広報を推し進めていくことは大変なことだが、まず第一歩はそこになるのではないかと感じた。 |
| 和委員 | 商店街に御協力いただいて、例えば、お店に行ったり、飲食店で料理を待っている間に、QRコードを読み取って計画書にアクセスできるとか、民間の皆さま方と連携できると、冊子に手が届くまでのハードルが少し下がるかなと思う。 |
| 安陪委員 | 障がいをお持ちの方などの様子を見て、店主とお客様の気軽な会話から「知ってる？」というような言葉の繋がりや、皆さんに「利用できる方は利用していただきたい」というニュアンスで、私も商店でやるように心がけている。 |
| 木澤委員 | <p>私は本を読むのは好きな方だが、この冊子はあまり読みたいと思わないので、概要版があるのは非常に助かっている。一般の方もこの冊子を隅から隅まで読む人は、たぶん100人いたら99人読まないと思う。</p> <p>概要版をいろいろな所に配布していただいて、徹底して知らせていただきたいと思うし、私たちも当事者団体として、登戸地区社協と民生委員活動で概要版を活かしながら、一般の人たちに知らせていけたらと思っているので、出来れば概要版を少し多めに用意してほしい。冊子は民生委員の定例会で渡しても、持ち帰ってそのまま積んで置かれるのが関の山かと思う。事務局も大変かと思うが、概要版を様々な機会、会議や団体の活動の時に持って行ってお話をさせていただくのが、一番この地域福祉計画を知ってもらおう近道だと思うので、私自身も含めて努力していきたい。</p> |
| 佐久間委員 | <p>前回意見を言わせていただいたことを取り入れていただいてありがとうございます。大変見やすくなったし、興味があった時にどこに問い合わせをすればいいのかわかりやすくなったと感じた。</p> <p>全体的に思いが強いのだと思うが、文字が小さいなと感じた。興味を持ったところはお読みいただけたと思うが、高齢者の方は目も悪く、特に活動の様子が掲載されている「たまくを知る」というところは、思いが詰まって沢山の言葉になっていると思うが、文字が多いと見にくいと感じた。でも、前回と比べると興味を持ちやすい内容になっていると感じた。</p> |
| 小川委員 | <p>概要版はすごくわかりやすくいいと思う。うちの団体でもこちらを皆さんに配ってPRしたいと思っている。</p> <p>福祉は今ひとつ不勉強なもので、皆さんの御意見を聞きながら勉強させていただいたところがあるが、今回の計画案に、しっかりと前回の皆さまの御意見が反</p> |

| 発言者 | 発言要旨 |
|------------|---|
| | <p>映されていて、急に困った時の窓口が掲載されていると、そこに直接電話が出来ていいと思った。</p> <p>いろいろと御意見があるが、福祉計画案の冊子をじっくり読むと結構興味深い。ですから、興味のある方は見てくださると思う。私のように、あまり福祉のことを理解できていない者にとっては興味深く、多摩区の概要がよくわかると感じたので、是非いろいろな所に置いて、もっとPRをしていただければと感じる。</p> |
| 和委員 | <p>内容がよく出来ているので、多摩区のことともわかるし、先ほどいくつか御意見もあったが、ハンドブック的に使えるというのも一つメリットかと思う。</p> |
| 小山委員 | <p>計画書の54ページの地域資源マップで、「錦が丘（いこいの家、こ文）」の下に「にしきがおか（地子C）」とあるが、ひらがなと漢字の違いは何か。</p> |
| 有北委員 | <p>地域子育て支援センターの名称がひらがなになっている。</p> |
| 小山委員 | <p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>この概要版がとてもいいので、子ども文化センターに置いてくれると、小さなお子さんでもイラストで興味を持つのではないかと。子ども文化センターではサークルがいろいろと入っているので、概要版を置いてくだされば手に取って見てもらい、興味を持っていただけるのではないかと。置く時も、手に取ってもらえるよう工夫いただきたい。</p> |
| 木澤委員 | <p>計画冊子や概要版は、どなた、どの年齢層に一番知ってもらいたいのか？サービスを利用する人か？いろいろな活動をする人に知ってもらいたいのか？それによって、広報の仕方が全く違ってくると思う。</p> <p>例えば子ども文化センターや老人福祉センターに置くということは、利用者向けのPRだと思うが、利用者ばかり増えても、サポートする人がいなければ一番困る。</p> <p>これを作った目的は、利用者のためなのか、サポートをする人を増やすのか、どちらが目的なのか。</p> |
| 事務局（林課長補佐） | <p>事務局としては、広く区民の方に知っていただきたいというのが大きな目的で、活動されている方、まだ活動されていない方も含めて知っていただきたいと考えている。</p> <p>地域包括ケアシステムや地域福祉について、30代、40代、50代の方の認知度が低いという調査結果も出ているので、そういった方々にも知っていただきたく、周知の仕方を工夫していかなければと考えている。</p> |
| 内田委員 | <p>社会福祉協議会でも、今、第6期地域福祉活動計画を策定している最中である。行政と一緒に出来る事業、中身でも合わせられるものを擦り合わせていただいて、この3月に完成予定になっている。やはり課題は一緒に、知られていない、どういった方々に向けて、どういう形で広報していくのか。この辺を委員の皆さま、社協の皆さまに協議いただいている。</p> <p>先程もお話があったが、分厚い冊子を区民全員にお配りすると、経費的なこともある。やはり概要版を多く作ってお知らせし、興味を持った方が分厚い</p> |

| 発言者 | 発言要旨 |
|------------|---|
| | 冊子を入手するという形で、まず取っ掛かりとして、概要版を広く目に付くようにしたいと社協も考えているので、是非、区役所と足並みを揃えてやっていきたいと思う。 |
| 和委員 | 社協と連携しながら出来るといいと思うが、この冊子は PDF でホームページから見られる形になると思うので、冊子を保管するよりも PDF を見たほうが、拡大もしやすく見やすいので、そこへのアクセスもうまく出来るといいかと思う。 |
| 奥沢委員 | <p>107 ページに相談窓口のページがあるが、今、民生委員をやっている、いろいろな相談があるが、聞かれても案内することが難しいというか、知らない。</p> <p>例えば、区役所に相談したい時にどこに行けばいいのか、我々もなかなか知ることができない。もっと細かに、何階の何番に行けばよいというものが手元があれば、すぐに案内が出来ると思う。それを民生委員や社協に配布して、皆が持っていれば、もっと役所に親しみが出るのではないか。</p> |
| 永仮委員 | この会議に参加させていただいて、初めてこのような地域福祉計画というものが策定されているということ知った。民生委員をさせていただいているが、民生委員にとってはこの中身全てが大事な内容だと思うし、概要版の QR コードから情報が見られるということなので、若い方には役立つと思う。民生委員としても協議会などで勉強をしていけたら、多くのことを知ることが出来るし、福祉についても勉強できるかと思った。 |
| 松澤委員 | <p>第6期の計画書はあまり見ていなかったが、今回は時間をかけて読みたいと思うほど、とてもいいものに仕上がっているのではないかと思う。有北委員もおっしゃっていたように、イラストが興味を引いていると思う。</p> <p>私も民生委員をやっている、この計画を知らない人が多いと思う。たまたま私はこの推進会議に出させていただいているので、是非、知らない人、地域の人、近所の人、子育て中の方、高齢者、障害者の方も、わからないことがあった時にすぐ対応できるように勉強したいと考えている。先程、永仮委員も言っていたが、定例会議でも活用して、しっかり勉強していきたいと思っている。</p> |
| 大澤委員 | 私も社会福祉協議会にいるが、社協でもこういったものを作っている。私達も、これを資料として勉強して参りたいと思っている。 |
| 岸委員 | 概要版は何部程度刷るのか。 |
| 事務局（林課長補佐） | 400 部程度。 |
| 岸委員 | <p>役所にこういう資料が山積みに置いてあるということは、おそらく捌ききれないということかと思う。</p> <p>今、多摩区で医療機関が大体 110 から 115 くらいある。例えば一医療機関に 10 部ぐらい配る。待合室は待っている時間があるので、目に入れば持っていく人もいると思うし、そうすると広く市民に行き渡る。病気をしているから福祉とかは身近でしょうし、多摩病院も結構待ちますから、ちらっと目にして手に取ってくれば、それが一つの誘導になる。</p> |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----------|---|
| | <p>行政の方から医療機関に全部送るとお金がかかってしまうと思うので、2階の医師会事務局に持ってきてくれれば、こちらで医療機関に全部配ることは可能なので、例えば一医療機関10部配れば1,000部ぐらい。</p> <p>医師会で広報して待合室に置く形を取れば広く広報できると思う。是非、協力していくので、宜しくお願いします。</p> |
| 和委員 | <p>私もたまに病院に行きますが、待合室は一つのサロンになっているところがあるので、是非、御協力いただければと思います。</p> <p>立派な紙で印刷するのが400部ということですが、少し工夫をしていただいて、広く配布できるようにお願いできたらと思う。</p> |
| | <p style="text-align: center;">次第3（議事）</p> <p style="text-align: center;">（4）令和5年度地域包括ケアシステム構築に向けた主な取組結果について</p> <p style="text-align: center;">資料5の説明</p> |
| 和委員 | <p>以上をもって議事を終了する。進行を事務局へお渡しする。</p> |
| 事務局（中山課長） | <p>和委員、議事の進行ありがとうございました。それでは閉会にあたり、地域みまもり支援センター副所長の浅見から御挨拶を申し上げます。</p> |
| 浅見副所長 | <p>当計画は、この後、市・7区の計画を合わせて川崎市の審議会に付議し、正式決定になる。これまで、今年度4回の会議に皆さま御出席いただき、事前の資料のお目通し等も含め、誠にありがとうございました。</p> <p>今回、新たな取組として、障がい者の施設の方にイラストを書いていただき、委員の皆さまから御好評をいただいた。</p> <p>来年度から、新たなまちづくりに向けて区役所も努力していくので、委員の皆さま方には、これからも御指導、御協力をお願いして挨拶としたい。</p> |
| 事務局（中山課長） | <p>以上をもちまして令和5年度第4回支え合いのまちづくり推進会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。</p> |